



四小だより

いちょう

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

平成26年12月22日号

山形市立第四小学校
校長 坂本 澄子

＜児童数 186名＞

つながりの中で 大きく成長

先週の寒波で、一気に真冬並みの寒さがやってきました。本校ではインフルエンザが流行し、全員がそろわない中での締めくくりとなりましたが、今日何とか終業式を迎えることができました。罹患している子どもたちには一日も早い回復を願っています。保護者の皆様には、感染防止に向けてのご協力に改めて感謝申し上げます。

今日で2学期が終わりました。79日間という長い期間でしたが、大きな事故やけがもなく、子どもたちはつながりの中で大きく成長しました。終業式では、始業式で話した「やさしさいっぱい」の四小」にするために自分は何をするかを考えて具体的な行動に移すという課題から、それぞれの学年の成長をふり返りました。

2学期は、四小の3大行事である「いちょう兄弟体験学習」や「いちょう音楽会」への取り組み、6年生の修学旅行をはじめとする校外学習などがありました。また、11月の公開研究会では、多くの先生方に四小の子どもたちの学びの姿を見ていただきました。子どもたちは、学習はもちろん日々のくらしの中で、常に友だちやクルーズ班の仲間を意識しながら生活してきました。その相手を意識するということがすなわち「やさしさ」「思いやり」につながると考えています。各学年発達の度合いで表し方は異なりますが、つながりの中で自分なりのやさしさを発揮しようと努力する姿がたくさん見られ、その成長を確認することができて嬉しく思います。子ども自身も、できるようになった達成感や仲間とのつながりの深さを実感することで自分の成長を受け止め、次のよりよい自分を目指していくのです。

今後も、子ども一人一人に寄り添いながら、つながりの中で成長していけるように指導していきます。



さて、明日から1月5日まで14日間の冬休みに入ります。この休みは年末年始ということで、親戚やお客様など人の出入りも多く、大掃除やお正月の準備などの仕事もあることでしょう。子どもも家族の一員として、場に合った挨拶や手伝いなどをさせ、気持ちよく新しい年を迎えたいものです。1月6日の始業式に、元気に登校する子どもたちに会えることを楽しみにしています。

**今年一年間の温かいご協力に感謝いたします。
ご家族皆様で どうぞ よい年をお迎えください。**

＜第2学期終業式 校長あいさつ＞より

つながりの中で「やさしさ」いっぱい よりよい自分に更新

今日で79日間の2学期が終わります。この2学期は大きな事故やけがもなく、みんな元気に過ごすことができました。先週からインフルエンザが流行していますが、一日も早く回復することを願っています。

2学期の始業式で「丈夫な体をつくる」ことと「やさしさいっぱいの四小」にするために、自分は何をするかを考えて具体的な行動に移すということを話しました。さあ、どうだったでしょうか。自分をふり返ってみてください。今日は、校長先生が感じた皆さんの成長した姿をお話します。

たんぼぼ学年は、体も心も大きく成長しました。毎日水やりをして育てた大根で味噌汁やおでんなどを作り、おいしく楽しくいただきました。ボール投げゲームでは、どうするとよく当たるかを考え、友だちと教え合いながら、できるようになる楽しさを味わいました。初めてのいちよう兄弟体験学習やいちよう音楽祭では、面倒を見てもらうだけでなく、自分ができることを一生懸命見つけてやろうとしたり、練習したりする姿に成長を感じました。3学期は2年生の準備をする時期です。今度入学してくる新1年生にやさしく教えることのできる2年生をめざして生活してほしいです。

つばさ学年は、九九の勉強をがんばり、完璧に言えるようになるまで粘り強く取り組みました。音楽では全員が「アンダルコのうた」の伴奏をつくり、主旋律と合わせて楽しく演奏できました。また、落花生を大事に育てて収穫し、みんなが笑顔で分け合って味わうことができました。いちよう兄弟体験学習やいちよう音楽会を通して自分をふり返る力がつき、特に、音楽会への取り組みでは、話し方・演奏の仕方・並び方など1年生のよい手本となりました。「やさしさ」を実行できた2学期でした。3学期は、3年生になる準備の時期です。自信を持って、行動を広げていってほしいです。

きらめき学年の2学期は、市民合同音楽祭への出場やいちよう音楽会、そしてハモニコンサートと音楽への取り組みが印象的でした。ハート学年とともに創り上げた合唱と合奏は、ソロパートのオーディションや難しい器楽演奏への挑戦など、一人一人の練習はもちろん、お互いにアドバイスしながらよりよいものにしようという意欲が表れていました。ハモニコンサートでは、その力を発展させて「きらめき学年の世界」を創り上げました。この取り組みを通して、仲間とのつながりをさらに深められたと確信しています。いちよう兄弟体験学習では、学級で身につけた仲間への心配りが、いろんな活動の場面で言葉かけや行動となって表れ、上学年の構えが同え頼もしく感じました。

総合で「ゆるキャラ」づくりに取り組んだ**ハート学年**は、「四小のゆるキャラ」として発信したいという強い思いを何度も全校生や先生方に伝えました。私への1回目の交渉で出された課題をみんなで受け止め話し合い、2回目には全員が伝えたい思いを語ることができ「四小のゆるキャラ」が公認されました。今はゆるキャラ製作や名前決定、PR方法などの課題に向かって進行中と聞いています。うまくいかないことがあるからこそ立ち止まって考え、仲間と解決方法を探っていくことの大切さやよりよいものを創り上げていく楽しさを学んだと思います。「四小のゆるキャラ」の発信を楽しみにしています。市民合同音楽祭やいちよう音楽会へ向けて、きらめき学年をリードしながらともに創り上げようとする姿もすてきでした。

きぼう学年の総合的な学習への取り組みは、4回の施設訪問を通してお年寄りとのかかわりを深めることでした。常に「どうしたら心から喜んでもらえるか」を考え試行錯誤し、お年寄りの方の顔を思い浮かべながら準備し接してきました。回を重ねるにしたがって心が通い合い、訪問を心待ちにしてもらえるようになり準備にもいっそう磨きがかかりましたね。この学習で多くのことを体験し学んだと思います。また、いちよう兄弟体験学習での自分の立ち位置を意識した言動、そして、いちよう音楽会での高学年としての美しい動きにも成長を感じています。3学期は、6年生への0学期です。スマイル学年からしっかり引き継ぎ、やるべき事を考えて一歩一歩進んでいってほしいです。期待しています。

スマイル学年、まずは、いちよう兄弟体験学習への取り組みです。当日まで、そして、現地での2日間は、クルーズ班の仲間との関係づくり、とりわけ、自分がするのではなく、できることをしてもらえようと心を砕き、リーダーとして成長していく姿が見られ頼もしかったです。また、いちよう音楽会では、表現し伝える力はもとより、司会進行やステージ係などの運営面でも四小最高学年としての姿を見せてくれました。とても美しく誇らしかったです。そして、東京への修学旅行は、6年間共に過ごした仲間との最高の思い出ができたことでしょう。3学期は小学校生活の締めくくりです。いい姿で巣立つことができるように、一日一日を大切に、つながりを大事にして生活してほしいと願っています。